

各位

「第 54 回日本 ITU 協会賞」受賞候補者の推薦について

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。当協会の事業につきましては、平素から格別のご配慮、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会は国際電気通信連合（ITU）の目的達成および我が国の ITU 関係諸活動の発展向上、世界情報社会サミットにおける基本宣言および行動計画の実現ならびに情報通信および放送分野における国際協力活動の発展を通じ、世界の情報通信および放送分野の発展に寄与するため、「日本 ITU 協会賞」を「世界情報社会・電気通信日」の記念式典において贈呈しております。

つきましては、添付の「日本 ITU 協会賞規程」および「日本 ITU 協会賞規程細則」に基づき、下記要領にて受賞候補者の推薦をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 受賞対象者

(1) 功績賞：（国際標準化分野、国際協力分野）

ITU の活動または我が国の ITU 関係諸活動への貢献、世界情報社会サミットにおける基本宣言または行動計画の実現への貢献、情報通信、放送または郵便の分野における国際協力活動への貢献その他情報通信または放送に係る国際的な活動に関する功績が著しい者。

(2) 奨励賞：（国際標準化分野、国際協力分野）

上記「功績賞」に該当する諸活動にすでに参加し、今後これらの領域において継続して寄与することが期待される者。

(3) 特別功労賞：

功績賞に該当する事項につき、著しく高度な功績を有する者。（団体を含む）

- | |
|---|
| <p>〈注 1〉 来年は（一財）日本 ITU 協会創立 55 周年に当たりますことから、「特別功労賞」の受賞候補者も募集します（概ね 70 歳以上）。</p> <p>〈注 2〉 各賞の詳細につきましては、日本 ITU 協会賞規程類をご参照下さい。
なお、受賞候補者の推薦にあたっては、その所属団体、性別、国籍に関わりなく広い範囲の対象者から、積極的に推薦していただきたくお願いします。</p> <p>〈注 3〉 推薦元が、その団体の一組織や所属職員等を推薦した場合を除き、自らの団体或いはその団体の代表者を推薦（自薦）した場合は選考の対象外とします。</p> <p>〈注 4〉 審査の過程で、受賞はご推薦いただいた賞と異なる賞の対象となる場合がありますのでご承知おき下さい。</p> <p>〈注 5〉 日本 ITU 協会賞受賞候補者の中から特にその功績が顕著な方を「総務大臣賞」の受賞候補者として当協会から総務省へ推薦する場合がありますのでご承知おき下さい。</p> |
|---|

【各賞推薦対象範囲に関する補足説明】

推薦案件検討時の補足説明は次のとおりです。ご不明な点は、事務局までお問い合わせ下さい。

1) 各賞の推薦対象

- ITUにおける活動のみならず、ITUの課題とリエゾンしているアジア・太平洋電気通信共同体（APT）等、他標準化機関を通じての諸活動を含みます。
 - 他標準化機関を通じての活動内容は、顕著な貢献・功績を含み、ITUの研究課題と結びつくことが望ましいとします
- 業績については、直近数年間の活動を含め、記載願います

2) 国際協力活動におけるビジネスベースでのプロジェクト案件

被推薦企業・団体が取り組んできた途上国とのビジネスベースでのプロジェクトも対象です

- 推進過程等により途上国のICT・放送分野の発展、社会全体の発展に対する寄与・貢献がある案件を対象とします
- APTのパイロットプロジェクトも含みます
- ビジネス上の成果の評価は行わず、途上国社会の発展に関する客観的な貢献で審査します
- 相手国政府、関係諸団体等からの表彰や感謝状、地元紙掲載等があれば提示ください
- 国際連合およびITUが掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」との関連性があり、かつその貢献が期待されることを明示する資料があれば提示ください

3) 選考対象の拡大

- 女性の技術者・研究者・プロジェクト実施推進者も進んでご推薦下さい
 - ITUで活躍している方のみならず、関連学会、他団体で活躍されている方も応募歓迎します
- 海外在住（活動拠点が海外を中心とする）外国人功績者の推薦も可能です
 - ITU/APT等における国際標準化や国際協力活動での功績等、選考基準を満たす方
 - 特に我が国または民間の国際標準化活動、国際協力活動に対して顕著な寄与・功績が認められる方
 - 被推薦者が受賞となった場合、推薦機関が記念式典への参加に関する具体的な支援（事前・事後連絡や調整）につき責任をもって協力できることを受賞の前提とします
（当協会は式典への招請等一切の費用負担はいたしません）
 - 基本的に「功績賞」の候補者を対象とします
- SMEsの奨励賞への募集も行います
 - 今後世界的な社会貢献や課題解決のための貢献を期待される起業家企業
 - 海外展開の実績があり、今後の先進性、技術力に関する実績と今後の期待度を審査します
- 団体・プロジェクトの推薦も受け付けます
 - 団体・プロジェクト推薦用の推薦調書にご記入下さい

2. 推薦募集先

総務省、日本 ITU 協会法人賛助会員、情報通信研究機構、国際協力機構

3. 推薦調書

所定の推薦調書に必要事項を記載しご提出下さい。入力できる pdf フォームとなっています。
なお、候補者の業績に関する記述は、その業務に従事した期間が長いとか、関連する会議に数多く参加した等だけでなく、新しいアイデアの具体化や実現、画期的、具体的な成果に至るまでの経緯等を記述して下さい。

4. 推薦調書の送付先

作成いただいた pdf ファイルを下記メールアドレスに、添付資料としてお送り下さい。所定のフォーム以外は受け付けられませんのでご注意ください。また、参考資料がある場合は、ファイル名に受賞候補者の名前を付した形で、同様に添付資料としてお送り下さい。

e-mail : kyoukaishou@ituaaj.jp

5. 推薦調書の提出期限

2026 年 1 月 30 日（金）必着

6. 各賞の贈呈

2026 年 5 月 15 日（金）開催「世界情報社会・電気通信日のつどい」において贈呈します。

〔お問い合わせ先〕 一般財団法人日本 ITU 協会 企画部 岸本・大野
Tel: 03-5357-7621 e-mail: kyoukaishou@ituaaj.jp

【参考資料一覧】

推薦調書フォーム

推薦調書（記入例）

参考 1：日本 ITU 協会賞規程

参考 2：日本 ITU 協会賞規程細則

参考 3：日本 ITU 協会賞歴代受賞者一覧（2021 年-2025 年）

以 上